令和６年度「大阪ＩＲ（統合型リゾート）説明会」（第３回）　当日の質問への追加回答について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 質問 | 回答 |
| １ | 先日19日にメトロの夢洲駅が開業いたしました。これから4月になって万博が開幕するということで、利用されると思うんですけども、万博閉会した後、メトロの地下鉄の運用は、ＩＲを控えて休業とは考えられないんですけれども、ＩＲの計画の中で、このメトロの地下鉄のランニングコスト等についても、きちんと予算計画の中に入っているんでしょうか。 | 万博閉会後のランニングコストを含む地下鉄の運用につきましては、運行事業者であるOsaka Metroが計画するものであり、ＩＲの計画の中には入っておりません。万博開催期間中に比べると、万博閉会後からＩＲが開業するまでの間は利用者が減少することになりますが、万博パビリオンの撤去工事やＩＲ工事の作業員、夢洲の既存の物流施設の従業員の利用は見込めるものと考えており、年間約2,000万人の来場者を見込むＩＲの開業後を含めた長期的な収支は成り立つとOsaka Metroから聞いていると確認しております。 |